

「AI・みまくん」開発の背景

「AI・みまくん」を開発した背景には、知人の社長からの切実な相談がありました。その方は、奥様と共にお母様の介護をしていましたが、お母様が同じ話を繰り返すため、奥様が家事に集中できずに困っていたのです。高齢者は孤独を紛らわすために話を聞いてほしい一方で、家族は同じ話に疲れてしまい、感情的になりやすい。赤の他人なら冷静に対応できても、それを家族に求めるのは難しい現実があります。そんな中、ロボットは何度でも話を聞き、上手に褒めることで高齢者を喜ばせる力を持っています。これらの課題に応えるべく誕生したのが「AI・みまくん」です。

なぜ「AI・みまくん」が必要なのか？

1. 高齢化社会の課題：日本では、65歳以上の高齢者が増え続けています。その結果、一人暮らしの高齢者や、日中独りになるケースが増えています。家族が見守りたくても、仕事や育児で忙しく、常に見守ることは難しい状況です。

「みまくん」は、高齢者と毎日対話し、健康状態や日常の状況を把握することで、このような「孤独感」や「見守りの負担」を軽減します。

2. 高齢者の安全と健康を守る：高齢者には、転倒や急な体調不良といったリスクがあります。「みまくん」は対話やセンサーを通じて、異常を検知したり、日々の生活習慣（薬の服用、適度な運動、食事など）を促すことで、健康をサポートします。また、異常があれば家族や支援者に連絡するので、早期対応が可能です。

3. 高齢者と家族の心の負担を軽減する：家族が遠方に住んでいる場合、「親がどう過ごしているのか」「何かあったらどうしよう」と心配になることが多いです。「みまくん」は定期的に家族に状況を通知する機能があり、離れていても安心を届けます。

同時に、高齢者自身も「見守られている」と感じることで、安心感と孤独感の軽減が期待できます。

4. 日常に楽しさと活力をプラスする：「みまくん」は単なる見守りロボットではなく、会話を通じて高齢者の生活に彩りを加えます。趣味や思い出話に付き合ったり、音楽を流したり、ゲームを一緒に楽しむなど、生活に楽しさを提供します。